

# 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
雲仙市 南串山町	荒牧1地区(鬼池,白頭,板引,門山集落)	令和2年11月4日	平成31年3月

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	87.8ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	55.3ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	18.2ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.5ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	16.6ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	18.7ha

## 2 対象地区の課題

- ・圃場整備が完了している区域は、効率化が図られ農地の集約化も進んでいる。
- ・一方、圃場整備区域外では、段々畑で狭い、また道路も狭いことから、耕作放棄地等も点在するようになってきている。
- ・境川から大迫線までの棚田は、耕作放棄地となり、山林化が進んでいる。(板引川から檜峰線の間も)
- ・大迫、平田地区及び池崎の墓地に近い山沿いの耕作放棄地付近は、イノシシ被害が多い状況にある。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・中心経営体として位置づけられた農家は、30～50代が多く、また、60代の方についても後継者がいる状況である。
- ・今後の意向として、規模拡大の農家も多いことから、地区内での集約化を推進していく。

### (参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向			備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	
個人	22経営体	—	99.5ha	—	118.2ha		

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

### 農地の貸付け等の意向

- ・貸付け等の意向が確認された農地は、25筆、13,541㎡となっている。

### 農地中間管理機構の活用方針

- ・地域内の中心経営体となる農家は後継者も多く、規模拡大の意向も強いいため、機構を活用した集約を推進していく。
- ・中心経営体が、病気や怪我等により営農の継続が困難になった場合は、農地中間管理機構を活用し、農地の一時保安全管理や新たな受け手への付け替えが行えるよう中心経営体への貸し付けを進めていく。

### 基盤整備への取組方針

- ・圃場整備区域外は、棚畑で、狭く、形状も悪いことから、効率的な農作業が行えない状況であるため、補助事業を活用し、地形にあった小規模な圃場整備を進めていく。
- ・圃場整備が困難な場所は、農道等の条件整備を行う。

### 鳥獣被害防止対策の取組方針

- ・防護柵等の管理は、地域ぐるみで行い被害の軽減に努める。(電気柵周辺の除草等)
- ・老朽化した施設については、適宜修繕・更新等を行い、適正な維持・管理を進める。
- ・規模が、大きい場合は、補助事業等を活用する。